

様式第3号

第1回 厳美小・中合同学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回 第1回厳美小・中合同学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年5月1日（木）15時05分から16時00分まで
- 3 開催場所 一関市立厳美中学校 視聴覚室
- 4 出席者 千條幸男（厳し美しの里協議会長）、徳永規幸（元100周年、50周年事務局長）、遠藤寛文（元厳美小校長）、佐藤武生（元厳美公民館長）、佐藤奈保子（主任児童委員）、小原昭彦（厳美市民センター長）、小岩恭一（神楽指導者）、阿部美代子（主任児童委員）、五十嵐正一（本寺地域づくり推進協議会）、佐々木貴浩（厳美小学校PTA会長）、鈴木有希（厳美小学校校長）、青沼徹（厳美中学校校長）、鈴木智行（厳美中学校副校長）
- 5 議 題
 - ・厳美小・中学校、学校経営について（学校の様子、学校運営基本方針、学びフェストについて）
 - ・本年度の活動について
 - ・会長1名、副会長2名の選任
- 6 公開、非公開の別
一部公開 傍聴者 0人
- 7 議事内容
 - 中学校授業参観（出席者の感想）
 - ・学校運営支援協議会の一員である神楽指導者の小岩恭一様が厳美中学校生徒に指導する姿を参観していただいた。この日は、別会議も同日開催とし、より多くの地域の方々（各地区民生委員、厳美交番、市民センター職員など）にも参観していただいた。
 - ・異学年での教えあいが伝承活動に良い影響を与えている。
 - 小学校、中学校の学校経営について
 - ・小学校の学習は「厳美スタディ」を中心としたカリキュラムマネジメントを進める。
 - ・中学校は、地域ボランティアの一環として「ふるさと隊」を組織、地域行事に積極的に参加する事を奨励している。小中で交流を深めている。
 - ・質疑応答の結果、学校運営支援協議会でそれぞれの学校経営について承認をいただいた。

○熟議（質疑・応答）

- ・（市民センター長）市民センターに来る方は、高齢者が多い。小中学生はこの1か月みかけない。巖美地区の出生率から考えるといたしかたないが、交流の方法を探りたい。
- ・（小PTA会長）自分たちが子供の頃は、地域のお祭りなど楽しみがたくさんあった。今は少ない。地域と一緒になにかしかなることを考えたい。
- ・豊かな心を育てる巖美地区推進協議会でも運営支援協議会の様子、小中学校の様子を公報に掲載し、進めていきたい。
- ・中学校のPTA環境整備作業に地域の方々のお力を借りたい。⇒PTA会長名で期日をお知らせする広報などを出していただくと動くことができる。

○令和7年度会長1名 副会長2名の指名

会長 佐藤 武生 様

副会長 佐藤奈保子 様

副会長 佐々木貴浩 様 を満場一致の上、選出。

8 担 当

巖美小学校 副校長 赤塚知秋

巖美中学校 副校長 鈴木智行